

平成30年5月22日

平成30年度 学校関係者評価報告書

学校法人高村育英会

国際ペットビジネス専門学校熱海校

学校関係者評価委員会

平成30年度学校関係者評価委員

(関係企業等)

高橋 道広 氏 熱海動物愛護病院副院長 (獣医師)

(近隣住民)

田代 貞男 氏 レストランたしろオーナーシェフ (近隣住民)

以上2名

(同席の本学職員)

池谷 悟 校長 自己点検・自己評価実施責任者

田代 幸子 教務主任

室伏 息吹 広報課

1 教育理念・目標

○現状と問題点

- ①教育目標、育成人材については就業規則第一条に掲載し、入学案内書・ホームページでその周知徹底を図っている。
- ②ペット美容、動物看護、躰を中心にカリキュラムが構成され、ペットビジネスの総合的な技術、知識の習得を行っている。
- ③業界の動向を視野に入れ、学校の進むべき方向、カリキュラムや授業内容を常に検討している。

○改善のための方策

- ②実践的な授業の構築、アクティブラーニングの実施。
- ③関ペットビジネス業界の情報収集、業界関係者（講師）からの情報収集。

●学校関係者による評価

- ・学生が授業に興味を持ち、飽きずに取り組むための工夫をしていることは良いことだと思う。実習と座学のバランスや、講師の立ち位置なども工夫してみてもどうか。
- ・犬だけでなく、動物の体験をさせる授業を取り入れてみてはどうか。

2 学校運営

○現状と問題点

- ①②運営方針、事業計画は年度末の運営会議・理事会・評議員会で決議されたものを翌年度の方針として定めている。
- ③学校法人の就業規則にその処遇については明記されており、よく整備され機能している。
- ④学校法人の組織・意思決定機関は「学校運営会議」「理事会」「評議委員会」を開催しそれぞれが効率よく機能している。
- ⑤運営会議→評議委員会・理事会と意思決定システムは確立している。
- ⑥教務課、就職課、広報課、財務など事務処理関係においてネットワークで結び、通常の業務には全く支障がない。

○改善のための方策

- ⑥パソコンセキュリティの強化と、セキュリティソフトの更新。

●学校関係者による評価

- ・個人情報の管理システムを明確にしておく。

3 教育活動

○現状と問題点

- ①本校の育成人材は、業界のニーズに合ったものであり、専門的な知識や技術だけでなく、社会人基礎力を身に付けた人材の養成を行っている。
- ②教育目標である「3つの信頼」を得るために、事業計画書に明確に記載している。
- ③④カリキュラムは体系的に編成され、適正に位置づけられている。
- ⑤授業アンケートを学年末に実施しており、講師会により結果を伝え、学生の意見を反映させた変化のある授業展開を考えている。
- ⑥教員は学科の教育目標に向け授業を行うことのできる要件を備えた教員を確保して外部研修等に参加し指導力の向上を図っている。
- ⑦学則及び履修要項に従い厳正に実施している。
- ⑧資格、検定によっては特別講義や受験対策講座、補習授業を実施している。
- ⑨専門分野に限らず、生涯を通してレクリエーション、スポーツ、地域活動などに参加し、人間性の幅を広げ仕事に役立てることを学ぶ。
- ⑩付帯教育事業についての組織や体制はまだ確立されていない。

○改善のための方策

- ⑩卒業生に対して学び直しセミナーの実施を検討している。

●学校関係者による評価

- ・入学した学生、保護者、高校の先生方のそれぞれの期待や満足度を考え、選ばれる学校作りの為に、カリキュラムや授業内容は、常に変化しても良いのではないかと考えている。

4 学修成果

○現状と課題

- ①目標数値まで到達できなかった。遠方から入学した委託生への支援が不十分であった。
- ②取得率、受験率が低下してしまった。資格の必要性を周知する。
- ③退学者が前年度より増加し、目標は達成できなかった。
- ④卒業生は入社した企業からの評価、在校生は企業実習終了後の考課表にて評価を確認している。

○改善のための方策

- ①より早く現場を理解するために、早期にインターンシップを実施する。
- ②資格取得に向けた、夏期講習や補習授業を実施する。
- ③定期的な個別面談の実施。

④企業訪問を実施し、離職、転職などの追跡調査を行う。

●学校関係者による評価

・退学理由がどこにあるのか。明確な理由がないものについては、入学後

5 学生生活支援

○現状と課題

- ①週一回、「就職ガイド」の授業を実施。就職活動や働く心構えなどについて話をしている。合わせて、個別面談を内定獲得まで繰り返し行っている。
- ②日常的な問題は、クラス担任が対応している。面接の結果を教職員で情報共有し早期問題解決に努めている。
- ③委託奨学生制度・オリエントコーポレーション・日本学生支援機構・資格特待制度災害被災学生支援制度を導入している。
- ④学校医を置くとともに、全学生の健康診断を4月に実施している。
- ⑤通学路や駅周辺の清掃、学校所在地域で行われている祭りやイベントのスタッフとして参加している。学生自治会を設け、球技大会などを実施している。
- ⑥ホテル委託奨学生については、各社員寮を提供して頂いている。学校が運営している学生寮はない。
- ⑦定期的な出席状況報告書と定期試験結果報告書を保護者宛に送付している。その他、欠席連絡や必要に応じて面談を行っている。
- ⑧ホームページをリニューアルし、卒業生にも書類発行だけでなく、学校の近況報告などをブログで発信している。

○改善のための方策

- ②専門的な知識を持った相談員が必要。
- ⑥委託生だけでなく、遠方からの一般入学者に対応するための寄宿舎を検討

●学校関係者による評価

・担任の先生がすべての相談を受けるのは、負担が大きい。特に、精神的な問題を抱えている学生への対応は、専門家でなければ難しい。

6 教育環境

○現状と課題

- ①使用教室を検討し、実習を行いやすい配置に変更した。
- ②校外研修や企業研修を実施。海外研修については実施していない。
- ③年2回の防災訓練と飲料水・非常食・簡易防寒具防水ブランケットの準備をして

いる。

○改善のための方策

- ①実習環境の定期的な点検・整備の実施し、実習室の水回りの整備を行った。
- ②新たな企業実習先の開拓
- ③防災用トイレの購入を検討している。

●学校関係者による評価

- ・実習施設において、特に用具を使用する教室は安全面を最優先し、学生やモデル犬の怪我や事故が起こらない環境づくりが大切である。未然に防げるものは、危険因子を職員間で話し合い対応してもらいたい。
- ・災害時の対応は、近年の世界情勢も踏まえた防災対策を構築する。

7 学生の受け入れ

○現状と問題点

- ①体験入学の開催及び会場・校内ガイダンスへの参加、高校訪問等、精力的かつ適切に実施している。
特に体験入学については、毎回参加者にアンケートを実施し、内容に変化を持たせ参加者・リピーター数の増大を図っている。
- ②本校の特徴である「5つの資格取得」と「総合的に学ぶことができる」が志望理由の多くを占めている。
- ③AO入試、高等学校推薦、一般入試（作文試験・面接試験）を実施している。
- ④同分野の他の専門学校と比較しても低額にて、充実した教育内容になっている。

○改善のための方策

- ①体験入学について、参加者アンケートなどから実施時間の検討を行い、開催時間と全体の時間及び内容を見直した。

●学校関係者による評価

- ・学生募集において、学校の魅力をどのように伝え、理解してもらうか。また、保護者へのアプローチをどのように行うかを、実施結果を検証し今までのものと、新しいものを融合させ、満足度を上げる工夫をすることが大切である。

8 財務

○現状と問題点

- ①特に問題なく学校法人の財務基盤はほぼ適切に安定している。
- ②評議委員会・理事会において決議されたものであって、本学校法人としては適切な

ものになっている。

③ 2名の監事によって、毎年適切に行われている。

④ 学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価」「学校関係者評価」「財務関係」報告書を公開している。

○改善のための方策

① 日常経費の支出の必要性及び妥当性を考慮して支出金伺いを提出する意識を徹底すること。

●学校関係者による評価

・ 支出金について、必要性をよく検討し安易な支出を防ぐこと。

9 法令等の遵守

○現状と問題点

① 定員数・教員資格等の専修学校設置基準については、守るべき項目は遵守できている。

② 個人情報に関するデータの校外持ち出し厳禁、PCセキュリティに関しても問題なく対応している。

○改善のための方策

② マイナンバー等、個人情報の保護管理については、新たな管理体制を導入し万全を期す。

●学校関係者による評価

・ 特に問題は無く、各項目とも適切に行われている。

10 自己点検・自己評価・第三者評価

○現状と問題点

① 実施し改善を行っている。

② 学内掲示及びホームページにて「自己点検・自己評価報告書」「学校関係者評価報告書」を公開している。

③ 第三者評価の実施は現状計画されていない。

○改善のための方策

③ 第三者評価の体制はまだ未決定である。

●学校関係者による評価

- ・他の学校などを参考にし、第三者評価の実施を早急に考えたほうが良い。